

内分泌・糖尿病・代謝内科

スタッフ紹介

はまぐち まさひで 濱口 真英	講師・診療部長代行	(H12)	糖尿病・内分泌
なかにし なおこ 中西 尚子	学内講師・診療科長	(H14)	糖尿病・内分泌
おかだ ひろし 岡田 博史	学内講師	(H16)	糖尿病・内分泌
なかにし えいこ 中谷理恵子	病院助教	(H19)	甲状腺・内分泌代謝
きたがわ のぶこ 北川 暢子	病院助教（特定）	(H24)	糖尿病・内分泌
なかしま はなこ 中島 華子	病院助教	(H25)	内分泌
はせがわ ゆか 長谷川由佳	特別研究員	(H27)	糖尿病・内分泌
さいじょう ゆうと 西條 優斗	病院助教	(H29)	糖尿病・内分泌
いちかわ たかひろ 市川 貴博	病院助教	(H29)	糖尿病・内分泌
さかい きみこ 阪井貴美子	病院助教	(H29)	糖尿病・内分泌
まじま さおり 間嶋 紗織	学内講師（教育センター）	(H19)	糖尿病・内分泌
うしごめ えみ 牛込 恵美	客員教授	(H15)	糖尿病・内分泌
おおさか たかふみ 大坂 貴史	客員講師	(H21)	糖尿病・内分泌
はた しんのすけ 畑 真之介	客員講師	(H26)	内分泌

私たちの業務

◆ 広い視野に立った糖尿病治療

細小血管症（網膜症・腎症・神経障害）の発症・進展阻止を目標とした血糖管理のみならず、大血管症（冠動脈疾患、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症）の発症・進展阻止を念頭においた広い視野に立った糖尿病治療を行っています。また、基礎・臨床研究の成果を診療に反映させエビデンスに基づいた医療を提供することも我々の使命と考えています。

◆ 個々の病態に応じた治療法の選択

単に血糖だけを診ていても適正な治療はできません。その状態を引き起こす病態（インスリン分泌障害、インスリン抵抗性、糖毒性など）は、個々の症例によって異なります。我々は個々の病態を十分検討したうえでの確かな治療法を選択し、さらに生活環境・合併症などを考慮した最善の治療を提示します。

◆ 専門スタッフによる糖尿病のある人への治療支援

糖尿病は、日々の生活と治療を両立しながら継続していくことが大切な疾患です。当院では、糖尿病教室、栄養アドバイス、糖尿病相談室、教育入院などを通じて、治療開始時から継続的な療養までを支援しています。糖尿病専門医、糖尿病看護認定看護師に加え、糖尿病療養指導士の資格を有する看護師・管理栄養士・薬剤師が連携し、一人ひとりに合わせた支援を行います。

◆ 内分泌疾患を見逃さない

内分泌疾患は症状が非特異的かつ多彩であり、その存在を見逃されていることが多い疾患です。内分泌疾患の診断は、第一線で日常診療をされている先生方がいかに内分泌疾患を拾い上げてくださることから始まります。問診、身体所見、一般検査所見から「内分泌疾患では？」と疑われたら、当科にご紹介ください。精査を含め的確に対応させていただきます。1つでも多くの内分泌疾患を診断・治療し、より良い生活を送っていただくことを目標にしています。

外来診療担当医師予定表

令和8年6月1日現在

月		火		水		木		金	
糖尿病・内分泌	中西尚子 講師	糖尿病・内分泌	岡田博史 講師	糖尿病・内分泌	濱口真英 講師	糖尿病・内分泌	長谷川由佳 医員	内分泌	中島華子 医員
糖尿病・内分泌	北川暢子 医員	糖尿病・内分泌	間嶋紗織 講師	糖尿病・内分泌	牛込恵美 客員教授	糖尿病・内分泌	西條優斗 医員	糖尿病・内分泌	市川貴博 医員
甲状腺・内分泌代謝	中谷理恵子 医員	糖尿病・内分泌	初診担当医	糖尿病・内分泌	初診担当医			// (第1・3・5週)	阪井貴美子 医員
(午後) 内分泌	畑真之介 客員講師							// (第2・4週)	大坂貴史 客員講師

実際の診療

病名・病態	主な診療内容
●糖尿病 1型糖尿病 2型糖尿病 その他の糖尿病 妊娠糖尿病	1型糖尿病、2型糖尿病、ステロイド糖尿病、膵性糖尿病など、さまざまな病態の糖尿病に対応しています。妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠の治療も行っています。血液・尿検査、画像検査、合併症評価を行い、食事・運動療法、内服治療、インスリン自己注射、インスリンポンプ療法など、一人ひとりの病状に応じた治療を行います。持続血糖モニタリングや血糖自己測定も積極的に導入しています。糖尿病教室、栄養アドバイス、糖尿病相談室、教育入院などを通じて、継続的な治療を支援します。
●急性合併症 糖尿病性ケトアシドーシス 高浸透圧高血糖状態 低血糖 急性感染症	糖尿病性ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖状態、低血糖、急性感染症などの急性合併症に対応しています。血液・尿検査、画像検査などにより病状を評価し、全身管理を含めた治療を行います。緊急性が高い場合には、救急部門や関連診療科と連携して対応します。
●慢性合併症 糖尿病性腎症 糖尿病網膜症 糖尿病性神経障害 動脈硬化症 足潰瘍	血液・尿検査、フットチェック、(負荷)心電図、神経伝導検査、自律神経検査、頸動脈エコー、心エコー、ABIなどにより合併症を評価します。 眼科、腎臓内科、循環器内科、皮膚科などと連携し、診断・治療を行います。
●肥満症	血液検査や体組成測定(InBody)などにより病状を評価し、食事・運動療法を中心に治療を行います。適応を満たす場合には、肥満症治療薬を含めた治療を行います。栄養アドバイスなどを通じて、継続的な治療を支援します。
●内分泌疾患 甲状腺疾患 副甲状腺疾患 下垂体疾患 副腎疾患 性腺疾患	血液・尿検査、画像検査、甲状腺エコー、内分泌負荷試験、副腎静脈サンプリングなどにより診断を行います。バセドウ病では、薬物療法のほか、放射線科と連携したアイソトープ治療、耳鼻咽喉科と連携した手術療法にも対応しています。また、各種内分泌疾患に対して、ホルモン補充療法などの内科的治療を行い、手術が必要な場合には関連診療科と連携して対応します。

★糖尿病教室・相談室：医師、看護師、管理栄養士、薬剤師による治療支援、療養支援、相談、アドバイス

★糖尿病教育入院：10～14日間

★内分泌負荷試験入院：3～5日間

★糖尿病患者の会：「水曜会」が活動

糖尿病教室・相談室に関するお問い合わせ 075-251-5020 肥後（糖尿病看護認定看護師）まで
 診療・入院に関するお問い合わせ 075-251-5505 岡田（糖尿病）
 中島（内分泌）まで

府立医大 内分泌・糖尿病・代謝内科 医局 TEL 075-251-5505

FAX 075-252-3721

URL <http://kpum-1nai.jp/metabo/>

救急対応 内科外来 TEL 075-251-5020（外来時間帯）

救急外来 TEL 075-251-5645・5646